

博物館のあり方に関する基本的な考え方のポイント（新博物館のあり方部会報告）

県立博物館の課題

施設の老朽化、狭小化、耐震化の不備

県内の自然や歴史・文化資産の散逸・滅失、県外流出の危機

三重県のアイデンティティの明確化の必要性

文化振興拠点としての博物館

文化振興拠点としての県立博物館の役割

- ・ 県民一人ひとりの成長と自己実現の支援
- ・ 地域のアイデンティティの明確化と、潜在的な力と魅力の向上
- ・ 人材育成の中核

地域の文化振興拠点としての役割

- ・ 地域の文化を次世代に継承するための拠点
- ・ 生涯学習の拠点
- ・ 地域づくりや地域課題解決支援、地域アイデンティティの発信の場
- ・ 地域振興への貢献

市町や民間の文化振興拠点との役割分担と連携

- ・ 市町や民間の文化振興拠点とのネットワーク構築
- ・ 県立博物館の役割の明確化

基本的な性格

総合博物館

- ・ 人間の生活を総合的に捉える視点を持ち、自然系・人文系のどちらにも特化しない総合博物館
- ・ 展示活動のみならず、収集・収蔵、調査・研究などを含めた博物館活動全体において総合な博物館活動を行う博物館
- ・ いくつかのテーマを設定して活動する総合博物館

地域の多様性を考慮した博物館

- ・ 地域の多様性を総合的にカバーする博物館
- ・ 多様な地域性を背景にした県内の博物館で構成されるネットワークの中核を担う博物館
- ・ 県内の各博物館の独自性と魅力を発揮させ、総体として「みえの博物館」機能を果たすための先導的役割を担う博物館

各機能が有機的に連動した博物館

- ・ 収集・収蔵、調査・研究、展示など、すべての博物館活動を有機的に結合するノウハウを持つ博物館
- ・ 有機的な博物館機能を基盤にして、人材育成や技術支援などの機能を発揮できる博物館

誰もが自由に利用・参画し、楽しみながら学べる博物館

- ・ 子どもからおとなまで世代を超えて楽しみながら学べる博物館
- ・ 障がい者や外国人など誰もが利用できるよう配慮した博物館活動
- ・ リピーターを絶えず生み出す博物館活動
- ・ 県民一人ひとりが自己実現でき、交流を通じて博物館活動に主体的に参画できる博物館

博物館に求められる機能

基本的な機能（タテ系の機能）

収集・収蔵

- ・ 現在の収蔵資料の収蔵環境確保
- ・ 全県的な見地からの収蔵方針の決定
- ・ 県内博物館の資料収蔵ネットワークの構築

調査・研究

- ・ 学芸員の人員確保
- ・ 他機関との共同研究や、客員研究員等の参画。
- ・ 地域課題解決や地域振興に資するシンクタンク機能

展示・情報発信

- ・ 従来型の固定的な常設展示の見直し
- ・ 県内の博物館施設等と連携した館外展示の実施
- ・ 「三重県」を内外に発信

閲覧・レファレンス

- ・ 博物館の新たな重要機能として、資料閲覧・レファレンス機能により資料の新たな活用の幅を広げる

地域・人との交流機能（ヨコ系の機能）

学習支援

- ・ 気軽に立ち寄れる博物館
- ・ 博物館にしかできない方法による自己実現の支援
- ・ 学校教育への支援
- ・ 将来を担う子どもたちの育成

県民参画

- ・ 県民参画を得て、県民とともに成長する博物館
- ・ 県民とともに成長する博物館
- ・ サポートスタッフ事業の発展

アウトリーチ

- ・ 県内全域をフィールドとして活動
- ・ 地域の諸団体・県民との協働による資料調査・研究活動・展示会の実施

人材育成支援

- ・ 自館の人材育成
- ・ 県内の文化振興拠点等を担う人材の育成および技術支援